

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券	
信託期間	3年間（2013年6月28日～2016年6月27日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストークレディ・スイス・グローバルCB・ファンド（円ヘッジクラス）」（以下「グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）」）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストークレディ・スイス・グローバルCB・ファンド（ノンヘッジクラス）」（以下「グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）」）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
運用方法	為替ヘッジあり	①主として、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）の受益証券を通じて、魅力的な利回り水準を有する世界の転換社債（CB）に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
	為替ヘッジなし	①主として、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券を通じて、魅力的な利回り水準を有する世界の転換社債（CB）に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額から分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

ダイワ・グローバル
高利回りCBファンドⅡ
為替ヘッジあり／為替ヘッジなし

運用報告書（全体版）
第4期

（決算日 2015年9月10日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし」は、このたび、第4期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<2674>

<2675>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	元残 存本率
	(分配) 税込み 分配金	期 騰落 額	中 期 騰落 率	中 期 騰落 率				
設定 (2013年6月28日)	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% -	% 100.0
1期末 (2014年3月10日)	10,025	280	305	3.1	4.3	0.1	99.0	96.9
2期末 (2014年9月10日)	10,007	100	82	0.8	3.2	0.1	98.2	86.5
3期末 (2015年3月10日)	9,827	100	△ 80	△0.8	1.8	0.0	99.3	78.5
4期末 (2015年9月10日)	9,790	100	63	0.6	1.7	0.0	99.0	71.5

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

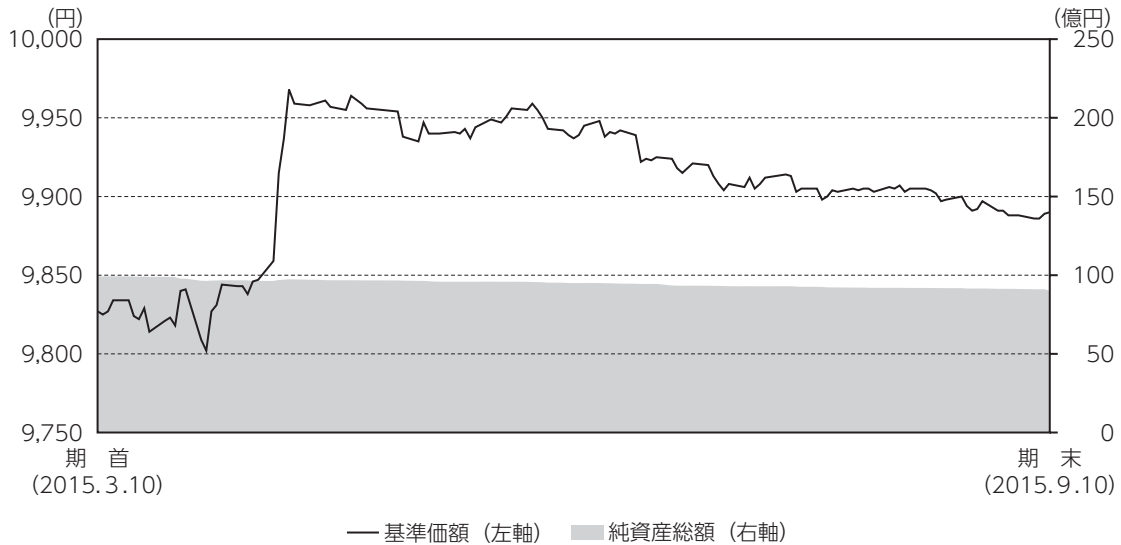
(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期首：9,827円

期末：9,790円 (分配金100円)

騰落率：0.6% (分配金込み)

■基準価額の主な変動要因

魅力的な利回り水準を有する世界のC B (転換社債) 等に投資した結果、投資したC B等は銘柄選択が良かったこともあり小幅に上昇したため、基準価額は値上がりしました。また、外貨建資産への投資にあたっては、為替変動リスクを低減するために為替ヘッジを行なったことにより、為替相場の変動の基準価額への影響は軽微でした。

ダイワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ 為替ヘッジあり

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2015年3月10日	円 9,827	% -		% 0.0	% 99.3
3月末	9,802	△0.3		0.0	99.1
4月末	9,959	1.3		0.0	98.8
5月末	9,956	1.3		0.0	98.2
6月末	9,918	0.9		0.0	98.0
7月末	9,903	0.8		0.0	98.4
8月末	9,891	0.7		0.0	98.2
(期末) 2015年9月10日	9,890	0.6		0.0	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○グローバルCB市況

グローバルCB市況は下落しました。期首から2015年5月末にかけては、米国の早期利上げ観測の後退などにより上昇しました。8月中旬にかけては、中国株式市況が大幅に下落したことや、ギリシャ支援交渉が決裂したことで投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから下落しました。8月下旬から期末にかけては、中国経済への懸念が高まったことをきっかけに世界的に株式市況が下落する展開となり、グローバルCB市況もいったん大きく下落しました。その後は、中国株式市況や原油価格が反発したことから投資家心理が回復し、やや下落幅を縮小する展開となりました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

ダイワ・プレミアム・トラスト・クレディ・スイス・グローバルCB・ファンド（円ヘッジクラス）（以下、「グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）」といいます。）の受益証券とダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券に投資します。また、通常の状態では、グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○グローバルCBファンド（円ヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のCBに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。なお、投資対象CBは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっていくと見られます。従って今後償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券などの組入比率が上昇することが想定されます。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、グローバルC Bファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、グローバルC Bファンド（円ヘッジクラス）の受益証券への投資比率は高位を維持しました。

○グローバルC Bファンド（円ヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のC Bに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。なお、投資対象C Bは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなってきました。償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券へ投資をしました。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り（税込み）分配金は100円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における経費控除後の配当等収益が268,045,197円であり、純資産額の元本超過額がないため、経費控除後の配当等収益268,045,197円（1万口当り291.21円）を分配対象額として、うち92,042,174円（1万口当り100円）を分配金額としております。

《今後の運用方針》

○当ファンド

グローバルＣＢファンド（円ヘッジクラス）の受益証券とダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券に投資します。また、通常の状態、グローバルＣＢファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○グローバルＣＢファンド（円ヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のＣＢに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。なお、投資対象ＣＢは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっていくと見られます。従って既に残存期間の短い債券の組入比率は高まっていますが、今後償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券などの組入比率がさらに上昇することが想定されます。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.3.11~2015.9.10)		
	金 額	比 率	
信託報酬	61円	0.613%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,905円です。
(投信会社)	(22)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(38)	(0.380)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	61	0.617	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年3月11日から2015年9月10日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国(邦貨建)	3,676.303	335,778	11,271.689	1,060,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年3月11日から2015年9月10日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘	柄	口 数	金 額	平均単価	銘	柄	口 数	金 額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
					CS GLOBAL CB FUND (JPY HEDGED CLASS) (ケイマン諸島)		11,271.689	1,060,000	94

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年3月11日から2015年9月10日まで)

決 算 期	当				期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%	
公社債	15,099	2,000	13.2	-	-	-	
コール・ローン	533,649	-	-	-	-	-	

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
CS GLOBAL CB FUND (JPY HEDGED CLASS)	97,697.873	8,925,189	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	□ 数
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	千口 4,998	千口 4,998	千口 4,998	千口 5,007

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年9月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 8,925,189	% 97.4
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	5,007	0.1
コール・ローン等、その他	237,269	2.5
投資信託財産総額	9,167,466	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年9月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,167,466,956円
コール・ローン等	237,269,693
投資信託受益証券(評価額)	8,925,189,271
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	5,007,992
(B) 負債	156,231,206
未払収益分配金	92,042,174
未払解約金	7,758,751
未払信託報酬	56,044,278
その他未払費用	386,003
(C) 純資産総額(A - B)	9,011,235,750
元本	9,204,217,414
次期繰越損益金	△ 192,981,664
(D) 受益権総口数	9,204,217,414□
1万口当り基準価額(C / D)	9,790円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,790円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は192,981,664円です。

■損益の状況

当期 自2015年3月11日 至2015年9月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	335,819,473円
受取配当金	335,778,879
受取利息	40,594
(B) 有価証券売買損益	△ 62,819,547
売買益	2
売買損	△ 62,819,549
(C) 有価証券評価差損益	△ 150,378,567
(D) 信託報酬等	△ 58,558,739
(E) 当期損益金(A + B + C + D)	64,062,620
(F) 前期繰越損益金	△ 174,834,377
(G) 解約差損益金	9,832,267
(H) 合計(E + F + G)	△ 100,939,490
(I) 収益分配金	△ 92,042,174
次期繰越損益金(H + I)	△ 192,981,664

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	100円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年3月10日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は9,891円です。」

設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	元残 本率
	(分配) 税込み 分配金	期 騰 額	中 落 額	期 騰 率				
設定 (2013年6月28日)	円 10,000	円 -	円 -	% -	% -	% -	% -	% 100.0
1期末 (2014年3月10日)	10,562	280	842	8.4	12.0	0.1	97.4	72.4
2期末 (2014年9月10日)	10,486	300	224	2.1	8.8	0.1	98.1	53.7
3期末 (2015年3月10日)	11,118	300	932	8.9	11.7	0.1	99.1	46.1
4期末 (2015年9月10日)	10,921	300	103	0.9	9.5	0.1	97.3	40.8

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

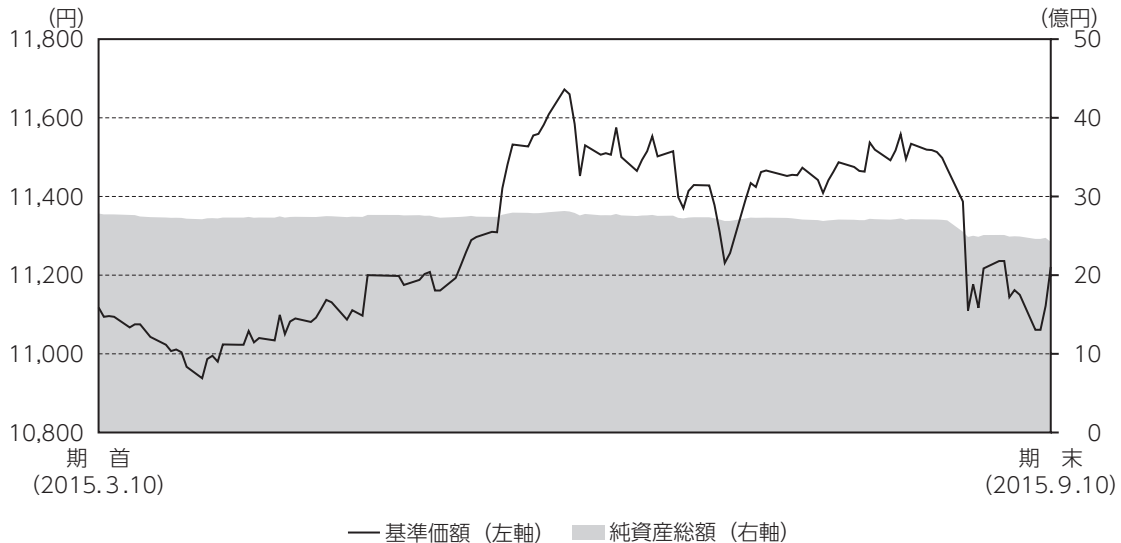
(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

期首：11,118円

期末：10,921円 (分配金300円)

騰落率：0.9% (分配金込み)

■基準価額の主な変動要因

魅力的な利回り水準を有する世界のＣＢ（転換社債）等に投資した結果、投資したＣＢ等は銘柄選択が良かったこともあり小幅に上昇し、さらに為替相場では、円高米ドル安はマイナス要因となったものの円安ユーロ高のプラス要因が上回り、基準価額は値上がりしました。

ダイワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ 為替ヘッジなし

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2015年3月10日	円 11,118	% -		% 0.1	% 99.1
3月末	10,987	△1.2		0.1	97.9
4月末	11,097	△0.2		0.1	98.1
5月末	11,532	3.7		0.1	99.3
6月末	11,398	2.5		0.1	98.1
7月末	11,487	3.3		0.1	98.3
8月末	11,236	1.1		0.1	98.0
(期末) 2015年9月10日	11,221	0.9		0.1	97.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

○グローバルCB市況

グローバルCB市況は下落しました。期首から2015年5月末にかけては、米国の早期利上げ観測の後退などにより上昇しました。8月中旬にかけては、中国株式市況が大幅に下落したことや、ギリシャ支援交渉が決裂したことで投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから下落しました。8月下旬から期末にかけては、中国経済への懸念が高まったことをきっかけに世界的に株式市況が下落する展開となり、グローバルCB市況もいったん大きく下落しました。その後は、中国株式市況や原油価格が反発したことから投資家心理が回復し、やや下落幅を縮小する展開となりました。

○為替相場

為替相場は小幅な円高米ドル安となりました。米ドル円為替相場は、期首から2015年3月下旬にかけては、FOMC（米国連邦公開市場委員会）後に早期利上げ観測が後退し、小幅の円高米ドル安となりました。5月上旬にかけてはほぼ横ばいとなりました。6月上旬にかけては、堅調な米国経済指標や米国の金融当局要人の発言から年内の利上げが意識されたことから、円安米ドル高となりました。7月中旬にかけては、ギリシャ支援交渉の不透明感や中国株式市況の大幅下落により円高が進行した場面もありましたが、ギリシャ支援策の合意や中国当局の株価対策の効果などで中国株が落ち着きを取り戻したことから反発しました。8月中旬にかけてはほぼ横ばいでした。8月下旬から期末にかけては、中国株安が世界的に波及するなど市場のリスク回避度が強まり、一時は大きく円高に振れましたが、中国当局が金融緩和などの対策を打ち出すと市場は落ち着きを取り戻し、やや円高幅を縮小しました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

ダイワ・プレミアム・トラスト・クレディ・スイス・グローバルCB・ファンド（ノンヘッジクラス）（以下、「グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）」といいます。）の受益証券とダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券に投資します。また、通常の状態、グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○グローバルCBファンド（ノンヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のCBに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。なお、投資対象CBは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっていくと見られます。従って今後償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券などの組入比率が上昇することが想定されます。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、グローバルC Bファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、グローバルC Bファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券への投資比率は高位を維持しました。

○グローバルC Bファンド（ノンヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のC Bに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。なお、投資対象C Bは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなってきました。償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券へ投資をしました。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り（税込み）分配金は300円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額270,862,969円が、経費控除後の配当等収益70,263,103円を超過しているため、純資産額の元本超過額270,862,969円（1万口当り1,220.80円）を分配対象額として、うち66,561,973円（1万口当り300円）を分配金額としております。

《今後の運用方針》

○当ファンド

グローバルＣＢファンド（ノンヘッジクラス）の受益証券とダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券に投資します。また、通常の状態、グローバルＣＢファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

○グローバルＣＢファンド（ノンヘッジクラス）

魅力的な利回り水準を有する世界のＣＢに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。なお、投資対象ＣＢは信託期間終了までに償還もしくはプット行使日が到来する銘柄とされている一方、時間の経過とともにそうした銘柄は少なくなっていきます。従って既に残存期間の短い債券の組入比率は高まっていますが、今後償還あるいはプットの行使によって得られたキャッシュの再投資先として、残存期間の短い債券などの組入比率がさらに上昇することが想定されます。

○ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.3.11~2015.9.10)		
	金 額	比 率	
信託報酬	69円	0.613%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,293円です。
(投信会社)	(25)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販売会社)	(43)	(0.380)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	70	0.617	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2015年3月11日から2015年9月10日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国(邦貨建)	875.547	92,533	4,039.142	445,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2015年3月11日から2015年9月10日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘	柄	口 数	金 額	平均単価	銘	柄	口 数	金 額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
					CS GLOBAL CB FUND (NON HEDGED CLASS) (ケイマン諸島)		4,039.142	445,000	110

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年3月11日から2015年9月10日まで)

決 算 期	当				期			
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C		
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%		
公社債	15,099	2,000	13.2	-	-	-		
コール・ローン	533,649	-	-	-	-	-		

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
CS GLOBAL CB FUND (NON HEDGED CLASS)	22,081.371	2,358,732	97.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	千□	□ 数	千□ 評 価 額
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド		千口 2,499		千口 2,499 千円 2,503

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年9月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,358,732	% 93.9
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	2,503	0.1
コール・ローン等、その他	150,581	6.0
投資信託財産総額	2,511,817	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年9月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,551,817,585円
コール・ローン等	110,581,500
投資信託受益証券(評価額)	2,358,732,090
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	2,503,995
未収入金	80,000,000
(B) 負債	128,784,143
未払金	40,000,000
未払収益分配金	66,561,973
未払解約金	6,673,200
未払信託報酬	15,438,392
その他未払費用	110,578
(C) 純資産総額(A - B)	2,423,033,442
元本	2,218,732,446
次期繰越損益金	204,300,996
(D) 受益権総口数	2,218,732,446口
1万口当り基準価額(C/D)	10,921円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,921円です。

■損益の状況

当期 自2015年3月11日 至2015年9月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	92,546,540円
受取配当金	92,533,061
受取利息	13,479
(B) 有価証券売買損益	38,825,993
売買益	38,825,997
売買損	△ 4
(C) 有価証券評価差損益	△ 84,881,948
(D) 信託報酬等	△ 16,783,408
(E) 当期損益金(A + B + C + D)	29,707,177
(F) 前期繰越損益金	279,936,908
(G) 解約差損益金	△ 38,781,116
(H) 合計(E + F + G)	270,862,969
(I) 収益分配金	△ 66,561,973
次期繰越損益金(H + I)	204,300,996

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は15ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税込み)	300円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年3月10日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）」は11,063円です。」

ダイワ・プレミアム・トラストークレディ・スイス・グローバルCB・ファンド
円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス

当ファンド（ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストークレディ・スイス・グローバルCB・ファンド 円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2015年9月10日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表
2014年12月30日

資産	
投資、時価（費用 11,217,636,403円）	円 12,249,406,751
現金	759
外国通貨、時価（費用 5,250円）	5,236
為替先渡契約による評価益	53,218,022
為替先渡契約のカウンターパーティへの預託金	690,000,000
未収：	
利子	100,669,737
前払受託会社報酬	1,791,061
資産合計	13,095,091,566
負債	
未払い：	
投資運用報酬	6,687,268
専門家報酬	6,112,401
会計および管理報酬	1,383,114
保管報酬	940,851
名義書換代理報酬	251,727
負債合計	15,375,361
純資産	円 13,079,716,205
純資産の内訳：	
払込資本金	円 12,998,679,297
累積黒字	81,036,908
純資産	円 13,079,716,205
円ヘッジクラス	円 10,183,503,439
ノンヘッジクラス	2,896,212,766
	円 13,079,716,205
発行済み受益証券数	
円ヘッジクラス	105,975,192
ノンヘッジクラス	25,793,838
1口当りの純資産	
円ヘッジクラス	96.093
ノンヘッジクラス	112.283

(日本円建て)

損益計算書

2014年12月30日に終了した年度

投資収益		
利息収入	円	699,546,503
投資収益合計		699,546,503
費用		
投資運用報酬		90,890,229
会計および管理報酬		10,180,066
専門家報酬		7,736,958
保管報酬		5,864,374
名義書換代理報酬		1,951,820
受託会社報酬		317,810
費用合計		116,941,257
純投資収益		582,605,246
実現益および評価益（実現損および評価損）：		
実現益（損）：		
有価証券への投資		942,144,039
為替取引および為替先渡契約		(1,138,779,815)
純実現損		(196,635,776)
評価益（損）の純変動：		
有価証券への投資		7,660,486
為替換算および為替先渡契約		197,119,967
評価益の純変動		204,780,453
実現益および評価益		8,144,677
業務活動の結果生じた純資産の純増	円	590,749,923

ダイワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ

当ファンド（ダイワ・グローバル高利回りC BファンドⅡ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・クレディ・スイス・グローバルC B・ファンド 円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスに共通です。

（注）2015年9月10日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

投資明細表 2014年12月30日

元本金額	有価証券の明細	純資産に占める割合 (%)	公正価値	元本金額	有価証券の明細	純資産に占める割合 (%)	公正価値
	債券 (90.0%)				インド (5.1%)		
	オーストラリア (1.8%)				転換社債 (5.1%)		
	転換社債 (1.8%)				Fortis Healthcare, Ltd.		
USD	Paladin Energy, Ltd.			USD	5,000,000		59,687,499
	3.63% due 11/04/15		円 232,184,371		Jaiprakash Power Ventures, Ltd.		
	転換社債計		<u>232,184,371</u>	USD	3,000,000		328,579,682
	オーストラリア計 (費用 191,459,492円)		<u>232,184,371</u>		5.00% due 02/13/15		
	オーストラリア (2.4%)			USD	1,700,000		40,587,499
	転換社債 (2.4%)				5.50% due 11/13/14		
	Conwert Immobilien Invest SE			USD	2,500,000		243,972,652
EUR	4,50% due 09/06/18		317,291,961		6.75% due 12/16/15		672,827,332
	転換社債計		<u>317,291,961</u>		転換社債計		<u>672,827,332</u>
	オーストラリア計 (費用 278,894,556円)		<u>317,291,961</u>		インド計 (費用 760,923,583円)		
	ベルギー (2.5%)				アイルランド (2.1%)		
	転換社債 (2.5%)				社債 (2.1%)		
	Cofinimmo S.A.			USD	1,500,000		171,040,497
EUR	3.13% due 04/28/16		321,071,511		Novatek OAO via Novatek Finance, Ltd.		
	転換社債計		<u>321,071,511</u>	USD	1,000,000		108,332,811
	ベルギー計 (費用 294,579,473円)		<u>321,071,511</u>		5.33% due 02/03/16		
	中国 (8.2%)				VEB-Leasing Via VEB Leasing Investment, Ltd.		
	転換社債 (8.2%)				5.13% due 05/27/16		279,373,308
	Billion Express Investments, Ltd.				社債計		<u>279,373,308</u>
USD	0.75% due 10/18/15		178,838,669		アイルランド計 (費用 265,468,313円)		
	China Huiyuan Juice Group, Ltd.				日本 (3.8%)		
USD	4.00% due 04/29/16		594,636,709		転換社債 (3.8%)		
	Homeinns Hotel Group			JPY	500,000,000		499,000,000
USD	2.00% due 12/15/15		291,909,175		0.00% due 03/31/15		499,000,000
	転換社債計		<u>1,065,384,553</u>		転換社債計		<u>499,000,000</u>
	中国計 (費用 897,906,843円)		<u>1,065,384,553</u>		日本計 (費用 499,963,715円)		<u>499,000,000</u>
	フィンランド (3.3%)				ルクセンブルグ (5.5%)		
	転換社債 (3.3%)				社債 (5.5%)		
	Solidium Oy			USD	2,000,000		242,331,246
EUR	0.50% due 09/29/15		436,294,598		ArcelorMittal		
	転換社債計		<u>436,294,598</u>	EUR	2,000,000		304,648,493
	フィンランド計 (費用 389,440,425円)		<u>436,294,598</u>		4.25% due 03/01/16		
	フランス (2.9%)				Fiat Chrysler Finance Europe		
	転換社債 (2.9%)			USD	1,500,000		171,744,213
	Neopost S.A.				6.38% due 04/01/16		
EUR	3.75% due 02/01/15		373,257,325		Gazprom OAO Via Gaz Capital S.A.		718,723,952
	転換社債計		<u>373,257,325</u>		4.95% due 05/23/16		171,744,213
	フランス計 (費用 338,942,882円)		<u>373,257,325</u>		社債計		<u>718,723,952</u>
	香港 (6.3%)				ルクセンブルグ計 (費用 666,165,002円)		
	転換社債 (6.3%)				オランダ (7.7%)		
	China Overseas Grand Oceans Finance Cayman, Ltd.				転換社債 (7.7%)		
HKD	2.00% due 03/21/17		383,763,883		Lukoil International Finance BV		
	China Precious Metal Resources Holdings Co., Ltd.			USD	5,000,000		566,135,929
HKD	7.25% due 02/04/18		180,571,006		2.63% due 06/16/15		
	Newford Capital, Ltd.			EUR	3,000,000		442,175,753
USD	0.00% due 05/12/16		255,462,496		Wereldhave NV		
	転換社債計		<u>819,797,385</u>		2.88% due 11/18/15		
	香港計 (費用 803,807,602円)		<u>819,797,385</u>		転換社債計		<u>1,008,311,682</u>
					オランダ計 (費用 918,076,323円)		<u>1,008,311,682</u>
					ノルウェー (1.8%)		
					社債 (1.8%)		
					Eksportfinans ASA		
				USD	2,000,000		239,308,671
					2.38% due 05/25/16		
					社債計		<u>239,308,671</u>
					ノルウェー計 (費用 205,370,670円)		<u>239,308,671</u>

元本金額	有価証券の明細	純資産に占める割合 (%)	公正価値	元本金額	有価証券の明細	純資産に占める割合 (%)	公正価値
USD 2,800,000	シンガポール (2.5%)			USD 5,000,000	Apollo Investment Corp.		
	転換社債 (2.5%)				5.75% due 01/15/16		611,423,818
	Golden Agri-Resources, Ltd.		322,133,432		Ares Capital Corp. (a)		
	2.50% due 10/04/17		<u>322,133,432</u>		5.13% due 06/01/16		452,453,626
USD 3,800,000	転換社債計		322,133,432	USD 2,200,000	Fifth Street Finance Corp.		
	シンガポール計 (費用 274,235,091円)				5.38% due 04/01/16		269,190,621
	南アフリカ (3.3%)				転換社債計		1,896,935,869
	転換社債 (3.3%)				社債 (5.6%)		
USD 4,000,000	Aquarius Platinum, Ltd.		435,479,993	USD 2,000,000	ABB Treasury Center USA, Inc.		
	4.00% due 12/18/15		<u>435,479,993</u>		2.50% due 06/15/16		243,511,387
	転換社債計		435,479,993		Aon Corp.		
	南アフリカ計 (費用 348,342,113円)		<u>435,479,993</u>		3.13% due 05/27/16		245,014,080
USD 1,800,000	韓国 (4.7%)			USD 2,000,000	Hewlett-Packard Co.		
	転換社債 (4.7%)				2.65% due 06/01/16		243,300,094
	Celltrion, Inc.		407,546,244		社債計		731,825,561
	2.75% due 03/27/18		<u>407,546,244</u>		米国計 (費用 2,291,077,431円)		2,628,761,430
USD 1,000,000	Hanwha SolarOne Co., Ltd.			USD 3,195,625	債券計 (費用 10,735,252,581円)		11,767,658,120
	3.50% due 01/15/18		204,131,247		短期投資 (3.7%)		
	転換社債計		611,677,491		グランド・ケイマン (3.0%)		
	韓国計 (費用 565,761,102円)		<u>611,677,491</u>		定期預金 (3.0%)		
USD 2,000,000	国際機関 (0.9%)			CHF 0	BNP Paribas		
	社債 (0.9%)				0.03% due 01/02/15		381,477,693
	European Investment Bank.		121,860,386		Brown Brothers Harriman & Co.		
	2.25% due 03/15/16		<u>121,860,386</u>		0.00% due 01/05/15		13
USD 2,000,000	社債計		121,860,386	EUR 52,376	Wells Fargo & Co.		
	国際機関計 (費用 116,762,151円)				(0.17%) due 01/02/15		7,605,657
	台湾 (3.8%)				定期預金計		389,083,363
	転換社債 (3.8%)				グランド・ケイマン計 (費用 390,392,524円)		389,083,363
USD 2,000,000	AU Optronics Corp.		266,504,683	HKD 3,271,473	HSBC Bank		
	0.00% due 10/13/15				0.01% due 01/02/15		50,344,792
	TPK Holding Co., Ltd.		231,289,059		0.01% due 01/05/15		42,320,476
	0.00% due 10/01/17		<u>497,793,742</u>		定期預金計		92,665,268
USD 2,000,000	転換社債計		497,793,742	JPY 42,320,476	香港計 (費用 91,991,298円)		92,665,268
	台湾計 (費用 427,556,845円)				短期投資計 (費用 482,383,822円)		481,748,631
	U A E (1.3%)				投資計 (費用 11,217,636,403円)	93.7	円 12,249,406,751
	転換社債 (1.3%)				負債を上回る現金とその他の資産	6.3	830,309,454
USD 2,000,000	Polarcus, Ltd. (a)		167,124,997	USD 4,700,000	純資産	100.0%	円 13,079,716,205
	2.88% due 04/27/16		<u>167,124,997</u>				
	転換社債計		167,124,997				
	U A E (費用 200,518,969円)		<u>167,124,997</u>				
USD 4,700,000	米国 (20.1%)						
	転換社債 (14.5%)						
	Annaly Capital Management, Inc.		563,867,804				
	5.00% due 05/15/15		<u>563,867,804</u>				

(a) 144 A 証券 - 1933年証券取引法の規則144 Aの下でSECへの登録の適用除外になっている証券。これらの証券は、登録せずに主として適格機関購入者に転売が可能である。他に指定がない限り、これらの証券は非流動的だとみなされない。

2014年12月30日現在未決済になっている円ヘッジクラスの為替先渡契約 (純資産の0.4%)

買い	カウンターパーティ	契約金額	決済日	売り	契約金額	純評価益
JPY	Credit Suisse First Boston	481,555,988	2015年1月30日	HKD	31,160,000	円 2,171,373
JPY	Credit Suisse First Boston	1,756,562,216	2015年1月30日	EUR	11,957,000	20,140,491
JPY	Credit Suisse First Boston	7,117,193,304	2015年1月30日	USD	59,376,000	30,906,158
						円 53,218,022

通貨の略称:

CHF	-	スイス・フラン
EUR	-	ユーロ
HKD	-	香港ドル
JPY	-	日本円
USD	-	米ドル

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・グローバル高利回りＣＢファンドⅡ 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）が投資対象として
いる「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2014年12月9日）と、当ファンドの決算日が異な
っておりますので、当ファンドの決算日（2015年9月10日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンド
の組入資産の内容等を25ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年3月11日から2015年9月10日まで)

買			付			売			付		
銘	柄	金額	銘	柄	金額	銘	柄	金額	銘	柄	金額
		千円			千円			千円			千円
540	国庫短期証券 2015/9/24	1,699,999									
555	国庫短期証券 2015/12/7	1,500,000									
541	国庫短期証券 2015/9/28	1,499,998									
532	国庫短期証券 2015/8/17	1,499,995									
521	国庫短期証券 2015/6/29	1,499,925									
536	国庫短期証券 2015/9/7	1,000,000									
548	国庫短期証券 2015/11/2	1,000,000									
554	国庫短期証券 2015/11/30	1,000,000									
534	国庫短期証券 2015/8/24	999,997									
535	国庫短期証券 2015/8/31	999,990									

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2015年9月10日現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンド（10,064,394千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2015年9月10日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちＢＢ格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 7,100,000	千円 7,099,999	% 70.4	% -	% -	% -	% -	% 70.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2015年9月10日現在							
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	540	国庫短期証券	%	千円 1,700,000	千円 1,699,999	2015/09/24	
	541	国庫短期証券	-	1,500,000	1,499,999	2015/09/28	
	548	国庫短期証券	-	1,000,000	1,000,000	2015/11/02	
	550	国庫短期証券	-	400,000	400,000	2015/11/09	
	554	国庫短期証券	-	1,000,000	1,000,000	2015/11/30	
	555	国庫短期証券	-	1,500,000	1,500,000	2015/12/07	
合 計	銘 柄 数	6 銘柄		7,100,000	7,099,999		
	金 額						

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第3期（決算日 2014年12月9日）

（計算期間 2013年12月10日～2014年12月9日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第3期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

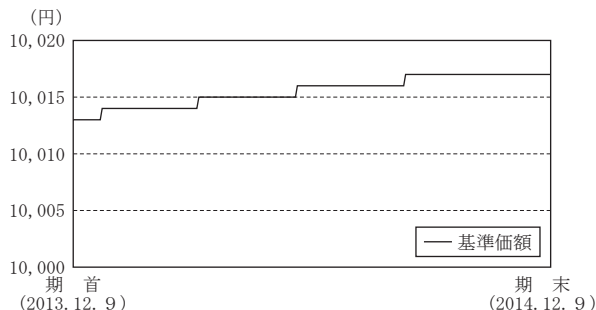
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率		公 社 債 組 入 比 率	
		%	%	%	%
(期首) 2013年12月9日	10,013	—	—	64.6	64.6
12月末	10,013	0.0	0.0	66.4	66.4
2014年1月末	10,014	0.0	0.0	76.5	76.5
2月末	10,014	0.0	0.0	77.7	77.7
3月末	10,015	0.0	0.0	70.6	70.6
4月末	10,015	0.0	0.0	72.5	72.5
5月末	10,015	0.0	0.0	77.2	77.2
6月末	10,016	0.0	0.0	66.1	66.1
7月末	10,016	0.0	0.0	76.4	76.4
8月末	10,017	0.0	0.0	80.2	80.2
9月末	10,017	0.0	0.0	66.3	66.3
10月末	10,017	0.0	0.0	66.6	66.6
11月末	10,017	0.0	0.0	85.2	85.2
(期末) 2014年12月9日	10,017	0.0	0.0	53.3	53.3

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

期首：10,013円 期末：10,017円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は値上がりしました。

◆投資環境について

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。また、2014年10月末には追加金融緩和を実施し、長期国債を中心とする資産買入れを一層拡大しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場ではおおむね低位での金利水準が続き、無担保コール翌日物金利は0.06%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは0.06%程度で始まりましたが、日銀の買入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.01%程度まで低下して期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引続き、資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国 債 証 券	千円	千円
		21,368,540	(19,920,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2013年12月10日から2014年12月9日まで)

		当 期	
		買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
496 国庫短期証券 2015/3/9	2,999,997		
486 国庫短期証券 2014/12/3	1,999,974		
476 国庫短期証券 2014/12/1	1,799,916		
490 国庫短期証券 2015/2/9	999,950		
492 国庫短期証券 2015/2/16	999,945		
493 国庫短期証券 2015/2/23	799,984		
473 国庫短期証券 2014/11/17	799,952		
475 国庫短期証券 2014/11/25	799,936		
454 国庫短期証券 2014/8/25	799,922		
434 国庫短期証券 2014/6/2	799,920		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債 (種類別)

区 分	当 期			末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率	組入比率
	千円	千円	%	%	%	%
国債証券	6,340,000	6,339,912	53.3	—	—	53.3

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内(邦貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	当 期			末		
	銘柄	年利率	額面金額	評 価 額	債還年月日	評 価 額
			千円	千円		千円
国債証券	479 国庫短期証券	—	340,000	339,999	2014/12/15	
	481 国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/12/22	
	490 国庫短期証券	—	1,000,000	999,965	2015/02/09	
	492 国庫短期証券	—	1,000,000	999,961	2015/02/16	
	493 国庫短期証券	—	800,000	799,988	2015/02/23	
	496 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,997	2015/03/09	
合計	銘柄数 金額	6銘柄	6,340,000	6,339,912		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2014年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公 社 債	6,339,912	53.3		
コーポレートローン等、その他	5,565,721	46.7		
投資信託財産総額	11,905,634	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資 産	11,905,634,225円	
コ ー ポ レ ー ト ロ ー ン 等	5,565,721,829	
公 社 債 (評価額)	6,339,912,396	
(B) 負 債	—	
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	11,905,634,225	
本 金	11,884,993,463	
次 期 繰 越 損 益	20,640,762	
(D) 受 益 権 総 口 数	11,884,993,463口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,017円	

*期首における元本額は7,555,798,942円、当期中における追加設定元本額は7,270,665,044円、同解約元本額は2,941,470,523円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジあり4,998,495円、ダイワ・グローバル高利回りCBファンドⅡ 為替ヘッジなし2,499,247円、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンドⅡ (為替ヘッジあり) 999円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり (年1回決算型) 4,995円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし (年1回決算型) 4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-04 (為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-07 (為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-10 (為替ヘッジあり/限定追加型) 999円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ48,492,145円、ダイワ・スイス高配当株ツインα (毎月分配型) 2,996,106円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり (毎月分配型) 29,988,005円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし (毎月分配型) 1,999,201円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース (毎月分配型) 1,002,195円、通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース (毎月分配型) 3,011,774円、ダイワ新興国ハイインカム・プラス -インカムチェンジ (積立型) -7,515,709円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド (限定追加型) -シフト11-4,694,526,114円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド (限定追加型) -シフト12-7,087,950,486円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,017円です。

■損益の状況

当期 自2013年12月10日 至2014年12月9日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,880,333円
受 取 利 息	2,880,333
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,353
売 買 益	1,353
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	2,881,686
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	9,949,597
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 4,529,477
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	12,338,956
(G) 合 計 (C+D+E+F)	20,640,762
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	20,640,762

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変わされたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託(当ファンドは該当します。)には適用されなくなりました。